

喜久田中学校便り

為せば成る



第 22 号

発行日：令和6年9月10日

文責：校長 菊地 敏美

連絡先：959-2204

自分の限界とチームの絆を1本の襷に込めて

9月5日（木）に昨年度と同じく東山霊園周回コースを利用して、郡山市中学校駅伝大会が開催されました。競技開始から暑さが厳しいコンディションの中、特設の女子・男子チームともに、朝や放課後の部活動前の時間と夏休みを活用した練習や試走の成果を十分に発揮し、最後まで諦めないで各自のベスト記録を目指し、必死になって襷を繋ぐことができました。

女子は22位、男子は19位という成績でしたが、どの走りも襷に込められたそれぞれの思いと応援していただいた方々への感謝の気持ちを胸に、限界の力を出し切ることができたと思います。

これまで皆様からいただいたご支援とご協力に心より感謝申し上げます。



《激走を振り返って》



女子1区 瀧田紗希さん(右端)



女子2区 佐藤若奈さん



女子3区 荒川優愛さん(左)



女子4区 渡辺結衣さん(1年)



女子5区 佐藤珠璃さん



男子1区 三瓶玲音さん(左端)



男子2区 安齋蒼空さん



男子3区 近藤大知さん



男子4区 橋本大和さん



男子5区 野内翔太郎さん



男子6区 國分奎史さん

女子は遠藤真夜さん、大和田結心さん、本田羽瑠奈さん、男子は渡部晴貴さん、本田輝さん、遠藤航希さんが、選手をよくサポートし活躍してくれました。皆さん、お疲れ様でした。次年度の走りに襷を繋げた皆さんに心より感謝申し上げます。

《大会を終えて》

女子チーム代表 瀧田 沙希 さん（女子第1区）

私は駅伝に参加するのは今回で2回目でした。今年は1区という重要な区間を任せられ凄く緊張しました。正直、自分が走れるのかどうかも不安になる瞬間がありました。けれど、仲間の応援もあったので頑張ることができました。大会当日での順位は決して良いものとは言えなかったかもしれないけど、仲間にタスキを繋げ、自己ベストを出すこともでき、自分的には満足のいく駅伝大会でした。駅伝部員みんなで頑張ってきた夏の練習も、とても良い思い出になりました。この経験で得たことは、今後の生活でも活かしていきたいです。

男子チーム代表 國分 奎史 さん（男子第6区）

自分は1年生の頃から特設駅伝部に所属していました。ですが、もともと走ることは得意ではなかったので、今まで試合に出たことは1度もありませんでした。それでも諦めずに駅伝の練習を続けたところ、少しずつタイムが伸びてきて今年初めて試合に出られました。そして、部長と6区という大事な役割を任せられました。本番ではあまりタイムを伸ばしことはできませんでしたが、同級生や後輩と一緒に練習したこの1ヶ月は無駄ではなかったと思いました。今思えば、もう少し皆と一緒に走りたかったです。とにかく、最高の思い出になりました。

監督 新田 朱理 先生

駅伝競走大会、大変お疲れさまでした。6月下旬から約2ヶ月苦しい練習に耐え、よく頑張りました。坂道トレーニングやインターバル走など、逃げ出したい気持ちを乗り越えて、少しずつ記録を伸ばすことに繋がって本当に良かったと思います。本番では一人一人が目標を持ち、全力で最後まで走る姿はとてまよかったです。また、男女関係なく応援している姿も素晴らしかったです。今年度に身に付けた力を来年度も生かしてください。また、入部を待っています。最後に、これまでご支援ありがとうございました。



チーム一丸となり力を出し切りました。